

めぐりつと紫波

発行者 NPO法人紫波みらい研究所

TEL 019-671-2244 FAX 019-671-2243

E mail miraikenshiwa-mirai.com

❄️ 紫波のまち 紫波のひと

スキーの名コーチ 田村由郎さん

ふるさとの歴史と自然が大好き！

紫波町で小学生時代を過ごした人は結構御存知の方が多いと思うが、昭和30年から町内の小学校の用務員さんとして長年勤務、実直で親しみやすい田村さんは子どもたちに人気があった。

30年代に町内のスキー仲間とクラブを作ってから、田村さんのスキー指導が始まった。赤沢と佐比内の境にある妙法山をスキー場として子どもたちや青年たちを集めておこなったのが最初。

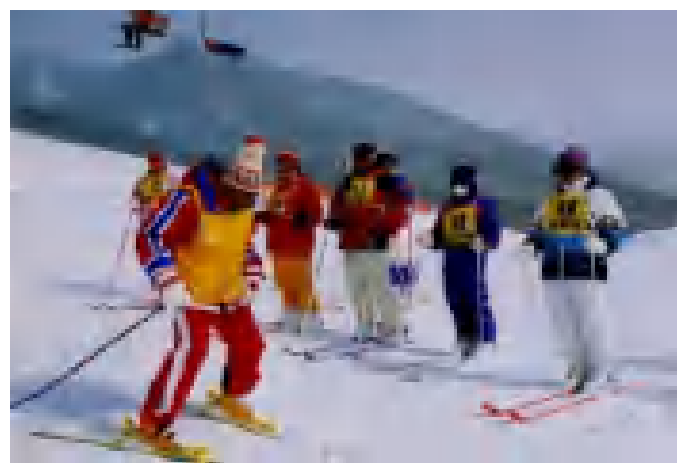
その後、バスをチャーターして網張スキー場へ行く紫波町スキー教室も開かれるようになり、上平沢や赤石など全町内の子どもたちも参加してきた。当時教えた子どもたちの中から現在15~6人が指導者になって活躍している。

植物は、小さい頃から母親の山菜取りについて行って、興味を持ち始めたが、更に赤沢の用務員時代、専門の畠山茂雄先生が赴任してから植物観察の面白さを教えられた。

クマガイ草の群落保全など赤沢の貴重な自然を守ることに尽くしたが、環境の変化で今は少ししか残っていないのが残念と話す。



ガイドをしている田村由郎さん



スキーのコーチをする田村由郎さん(左手前)

また、田村さんは若い頃盛岡鉈屋町の鍛冶屋に奉公し、技術も身につけている。一昨年、その鍛冶屋さんから当時使った鍛冶屋の道具が田村さんの人柄を見込んで寄贈され、赤沢資料館に保管されている。ここでの解説は鍛冶屋の道具だけではなく古代の産金の道具や近世の農具等についても解説してくれる学芸員的存在でもある。

小学校のとき先生から赤沢の歴史について教わったのが興味の始まりで、大河ドラマ「義経」のころ、赤沢判官堂や義経関係の場所を遠山英志先生と一緒に調べ、知り尽くしている。

現在は紫波郷土史同好会会員として郷土史の勉強をし、紫波町平泉関連史跡連携協議会副会長として赤沢関係の関連史跡と伝承について来訪者へのガイド活動を行っている。そのガイドぶりは、土地の人ならではの内容と田村さんの親しみやすい語りで聞く人を魅了している。



紫波町の循環型まちづくりを考える町民講座

■ 循環型まちづくりってなんだろう？

町では、今まで行ってきた紫波町の循環型まちづくりの活動を紹介し、また、今後のまちづくりについて皆さんと一緒に考え、実行していくため「紫波町の循環型まちづくりを考える町民講座」を全4回の予定で開催しています。講座では、これまで町が行ってきた循環型まちづくりについての紹介と、民間の事業者の方からこれからの環境や循環へのヒントをお話していただいています。また、第3回講座は、町内のスーパーなどの小売事業者の方と消費者、行政による対話集会（1月28日予定）を開催します。

講座はどなたでも参加できます。循環型まちづくりについて考えてみませんか？

第1回講座（11月18日 保健センター）

「純石けんによる河川環境負荷軽減について」

講師：エスケー石鹸株式会社 中村雅裕氏

安全な水資源を守るためには使い終わった水を汚さずに返すことが重要です。法規制により浄化されている工業排水に対して、家庭の排水は規制がなく河川を汚しています。

家庭の排水を分類すると、台所から出る排水が全体の4割、トイレが3割、風呂が2割、洗濯が1割で、河川を汚す排水の原因は洗剤や油がほとんどです。排水を汚さない方法として、食器などの油汚れはあらかじめふき取ってから洗う、汚れの少ないものは洗剤を使用せず、アクリルたわしで洗うなどがあります。

そして、使う洗剤は石けんをお勧めします。天然油脂を原料に作られていて、主に石油から作られる合成洗剤に比べて自然物質に分解されやすく、環境にやさしいという特徴があります。

また、洗濯用の石けん洗剤には、本来必要のない成分の蛍光増白剤が混入されていません。また、洗い上がりが柔らかいため柔軟剤を使う必要もなく、環境影響も少なく済みます。

「わかしおせっけん」(紫あ波せ本舗で販売)

海産物に与える影響が低いことから、新鮮・安全・安心な水産物を提供しようと漁場や漁村周辺の環境保全に取り組んでいる岩手県漁連が推奨。紫波町でもその取り組みを応援しています。

漁場の環境保全を行うためには、沿岸部だけの取り組みだけでなく、川の上流域とも連携した取り組みが必要です。紫波町も北上川上流域に暮らし、水産物を消費している消費者として、安全・安心な食べ物のために「わかしおせっけん」を使ってみましょう。

第2回講座（12月19日 保健センター）

「使用済みプラスチック製品のクローズドリサイクルシステムの推進」

講師：積水テクノ成型株式会社 宇川博明氏

多くのプラスチック製品によって生活が快適になった反面、プラスチック廃棄物による問題が生じてきました。しかし、作り方、使い方、処理の仕方を間違えなければ限りある石油資源の無駄遣いを減らすことができます。

プラスチック製品の上手な使い方として、まずは大切に使って長持ちさせること。それでも使えなくなったら洗って分別しリサイクル処理にまわしましょう。

リサイクルの方法として、家庭や学校など、町内で出される使用済みプラスチックを洗浄・破砕・溶解し、再び学校教材などに再生して使用することで使用済プラスチックを町内で循環させる「プラスチックのクローズドリサイクルシステム」を紹介します。

1. 再生しやすいペットボトルのキャップなどを、家庭や学校、職場などで分別・洗浄する。
2. NPO法人などが、分別・洗浄されたプラスチックを回収・破砕する
3. 破砕したプラスチックを原料にリサイクル製品に再生する。
4. 再生されたりサイクル製品を町内の学校などで使用する。

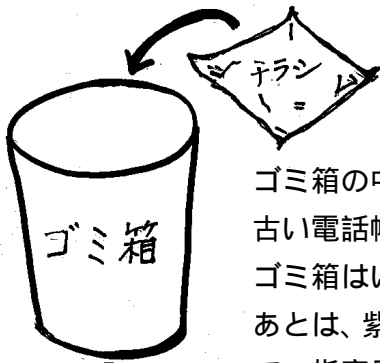
皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。
役場環境課 循環政策室

電話 019-672-6892

レジ袋削減のために！

近頃、マイバッグを持って買い物をしている人をたくさん見かけます。とってもいいことですね。でも、まだ多くの人々がレジ袋をもらって買い物をしています。その理由を聞くと、「レジ袋は、暮らしの中で色々役に立っている」という声が聞かれました。理由の中で一番多かったのが、「ゴミ箱が汚れないようにするために使っている」でした。

そこでこんなアイデアはどうですか！



ゴミ箱の中に入れる紙は、チラシ、古い電話帳、包装紙などなど。ゴミ箱はいいに汚れません。あとは、紫波町指定のごみ袋に入れて、指定日にお出してください。

我が家のエコアイデア募集中！

上記のように、こんなエコアイデアを実践しています、という人は情報を提供してください。

めぐりごと紫波や紫波町環境・循環PRセンターで住民の皆様へ情報提供していきたいと考えています。

あなたのアイデアが町を救います！

中小商業活力向上事業として、日詰商店街の中心にひのやサロン「鈴の音」が開かれて4ヶ月、この試みは1月で終了となります。開設されて以来、さまざまな講座に、作品展示にと、堰を切ったように催しが目白押しで開催され、賑わいの場になったので、終了を惜しむ声が多くあがっています。人が寄って集う、このような場が街の中にあるのは、商店街の活気にもつながるし、利用する人にとっても商店街は足を運びやすい所のようなのです。そんな両者の利点が改めて見直され、何とか継続させる方法はないか、あるいは日詰公民館の別館として機能させられないか、などといった声が利用した人々の中から出ています。

これらを踏まえて検討し、今後よりよい方向に、と主催側も考えているそうです。



行雲流水(5) - 帰りなんいざ -

昨年に端を発した世界的な金融危機の嵐、これは本県にも波及し、突然の解雇に泣く人々を産み出す結果になった。国内全体ではどれだけの人々が職と住まいを失ったことか。日比谷公園の「年越し派遣村」で食事を供される人々の姿に、居ても立ってもいらぬ思いになり、「絶対に何かが間違っている」と思った人は、数多かったのではないかと。一方で昨年は、紫波町を含む県内五カ所の医療機関が無床化が県から示された。これもつきつめれば「派遣切り」の問題と根っこでは繋がるのではないかと。経済至上主義に走り、要らなくなれば人でも物のように捨てる、カネがなければ人の命も軽視……。いつの間にか日本はこんな「心を置き去りにした」国になったのか。しかし、こういう政策を唱える政治家を「なんとか劇場」に踊らされて熱烈支持したのは、もとを言えば国民であった。そんな中、突然の解雇に遭った中年の男性が、テレビの画面で言っていた。「まあ、仕方がないから田舎に戻って親父が残した農地を掘り返します。今は荒れ放題になっていますが……」そう、賢沢はできないが、自然の懐に抱かれて天の恵みに感謝しつつ日々を送る、そういう暮らしを取り戻して下さい、とそつと言いたい気がする。そこには無論、「安心できる暮らし」の基盤整備は欠かせないのだ。(三)

イベント情報 2月～3月

アヴニール スノーバスターズ大募集!

紫波の生まれだ 日本酒まつり 町内4つの酒蔵自慢のお酒が大集合!

2月10日(火)

時間 18時30分開宴
会場 ラ・フランス温泉館ホテル湯楽々
「交流プラザ紫波」
会費 3,500円(前売りチケット制)
地酒・お料理・お風呂込み
プラス6,000円で宿泊(要予約)
定員 100名
送迎 JR 紫波中央駅発着 18時発
申込み ラ・フランス温泉館 TEL 673-8555

第38回うたごえ倶楽部トンテンカン

2月22日(日)

時間 14時～16時
会場 権三ほーる
内容 アコーディオンに合わせ、みんなで楽しむ歌の時間
参加費 300円(茶菓子代含み)
問合せ 権三ほーる TEL 676-5796

循環型まちづくりを考える町民講座

2月23日(月)

時間 18時30分から
会場 保健センター
内容 講演「レジ袋減らし隊 街に行く!」
講師 田丸 せつ子氏
レジ袋減らし隊全国運動 実行委員長
東京都生活学校連絡協議会 会長
参加費 無料
問合せ 役場環境課 循環政策室
TEL 672-6892

第39回うたごえ倶楽部トンテンカン

3月22日(日)

時間 14時～16時
会場 権三ほーる
内容 アコーディオンに合わせ、みんなで楽しむ歌の時間
参加費 300円(茶菓子代含み)
問合せ 権三ほーる TEL 676-5796

集まれ!

団塊の世代・女性大歓迎!
中高生の体力づくりにも!
土日だけでもOK!



主な作業

目的: 高齢や障害があって雪かきの困難な方の
居宅から公道までの確保

除雪機が残っていた雪の除去

対象: アヴニール紫波地域

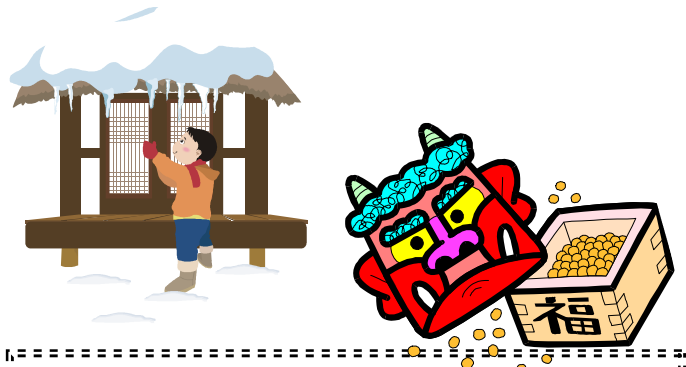
出動: 町の大型除雪機が出るような積雪時

貸与: 小型除雪機など

申込み・問合せ

紫波町社会福祉協議会 672-3258

なんでも屋おせっかい 090-7332-3607



【編集後記】

めぐりっと紫波では、読者の皆さんからの面白
情報をお待ちしています。

また、誌面の感想や意見もお寄せください。

めぐりっと紫波編集協力団体

紫波トークセッション さくら製作所

けやき学園

「めぐりっと紫波」は毎回多くの人の手を借り
ながら、皆さんとともに歩んでいます。

次回も楽しい話題・活動紹介など、盛りだく
さんでお届けします。

今回は、平成21年3月25日発行予定です。